



令和6年度第2回福祉のネットワーク永山定例会

自治会・管理組合のあり方～持続可能な地域活動～

第2回定例会では、多摩市鶴牧にあるグリーンメゾン鶴牧の高齢化対応委員会、永山6丁目の自治会改革プロジェクトについて、各々の活動状況をお話いただきました。

グリーンメゾン鶴牧 高齢化対応委員会 吉岡賢さん

高齢化対応委員会は、管理組合の中の特別委員会として組み込まれ、20年以上活動しています。主な活動内容は、環の会（サロン）、よりあい、安否確認、要配慮者対応で、全て見守りを目的としています。

20年の活動で地域に知り合いが増えた。一番得したのは私です！



△吉岡さん



◇環の会（サロン）…週1回のお茶とおしゃべりの会、絵手紙の会、コーラスなど。

絵手紙は、暑中見舞いと年賀状を団地の高齢者にポスティング。高齢になると年賀状をやめたなどの声から実施。

◇よりあい（棟別集会）…近くに知り合いを作ることが目的。年1回、すべての棟で実施。

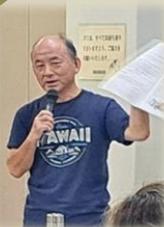
◇安否確認…NPO 法人エンリッチの「LINEを使った見守りや、65歳以上希望者の連絡網など

こうした活動が20年も続いているのは、会則とか規則を作らず、希望者が自分の活動として行ってきたためです。できることは何でもやる。福祉は意識せず、自分のため、ということです。

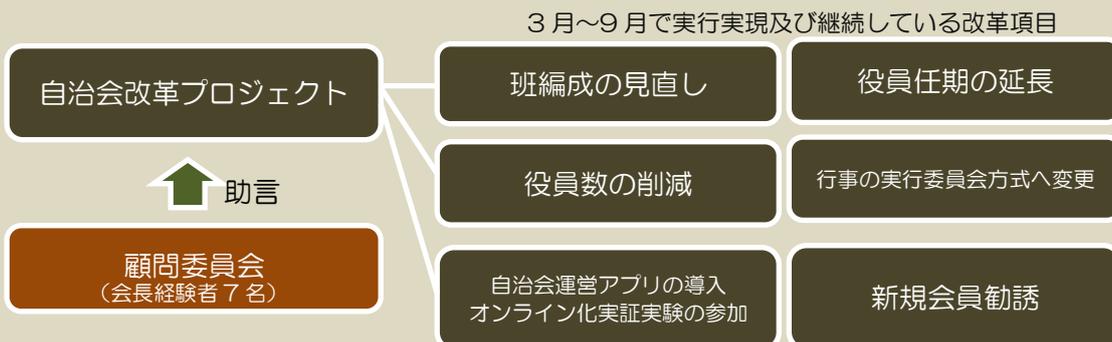
永山6丁目自治会改革プロジェクト 横山幸司さん

永山6丁目自治会では、2024年3月に自治会改革プロジェクトを立ち上げて自治会活動全般を見直し、今後も持続可能な自治会活動を目指して取り組みを進めています。住民の高齢化や自治会加入会員の減少、短期間に役員が回ってくるなど、顕在化してきた課題に対し、持続可能な自治会活動を目指し、改革に取り組んでいます。

改革プロジェクトには、40代から60代の若い世代が関わってくれています。



△横山さん



自治会改革は1年で終わることはないため、少なくとも9月からスタートした1年間の実証実験終了までは、継続して取り組みを進めていく予定です。

永山団地防犯パトロール

地域活動の ご紹介♪

永山団地自治会パトロール隊による夜間パトロールが開始されて 15 年以上となります。正確な発足時期は不明ですが、現在の水野隊長はすでに3代目と伺いました。当初は8月と12月の年2回でしたが、年2回の活動では効果が少ないと考え、5～6年前から毎月1回の活動に変えたそうです。

現在は7名の人員構成で毎月第2水曜日20時から永山団地集会所をスタートし、30～40分、主に永山4丁目の全域をパトロールしています。揃いの蛍光ベストを着けて拍子木を打ち、全員で“火の用心”を連呼して回っています。

拍子木の音や火の用心の声に反応した子供が団地の窓から覗いて手を振る姿が印象的でした。



△令和6年7月のパトロール

福祉のネットワーク永山とは

永山地区の各団体・グループ等の住民同士がつながることで地域課題に向き合い、解決に取り組んでいます。

☆主な会議・行事

- 定例会：自治会・管理組合・団体等の意見交換会。奇数月に開催
- 防災連絡会：永山地区、瓜生地区の自主防災組織を対象に各々隔月に連絡会議を開催
- まち歩き：毎月第2・最終火曜日に実施
- バス旅懇親会：遠出が大変！との声に応じて実施。5月、11月に予定。
- 見守りさんぽ：毎週月曜日、永山地区・瓜生地区に分かれ15時30分から実施
- 体操サロン：毎月第2水曜日13時30分～ 諏訪地区市民ホール他
- ★連絡・問い合わせ先：多摩市社会福祉協議会 042-373-5616



△バス旅問合せLINE

<ま・ち・か・ど>

永山6丁目の小野路第3公園の梅を使った梅干し作りは、毎年11～12月頃の梅の木の剪定、養生から始まる。翌年6月に梅を収穫し、1週間の塩漬の後、赤しそを入れて約1か月間漬け込み、梅雨明けの後3日間の天日干しをして『瓜生の梅干し』が出来上がる。今年は7月27日に11名の有志が参加し、パック詰め作業を行った。



今年の『瓜生の梅干し』の特徴は、瓜生小の梅が入っていること。昨年12月に瓜生小の水野前校長と相談し、瓜生小体育館前にある梅の木を6丁目自主防災会が剪定し、その木から収穫する梅で梅干しを作ることにした。

地域の公園や小学校の梅の木から収穫した梅が『瓜生の梅干し』に生まれ変わるといったストーリーに加え、ほんの少し資源の有効活用にもなり、何よりも地域交流につながっている。

